

# 伊奈吉物語

★ INAKICHI MONOGATARI ★



## 第 3 話

Episode 3

公益財団法人いきいき埼玉



しばらくして、

伊奈吉の なかまが

<sup>か</sup>狩りから もどってきました。

ライオンたちは たべものを <sup>て</sup>手にいれましたが、

<sup>えもの</sup>獲物を さがして

うごきまわり、

かけまわり、

<sup>だんけつ</sup>団結をし、

<sup>しんぼう</sup>辛抱し、

<sup>おも</sup>思いきり、

<sup>さき</sup>先を よみ、

<sup>ちえ</sup>知恵を しぼり、

<sup>ちから</sup>力を だしつくし、

たがいを たたえあって

クタクタに くたびれて しまっていました。

みんな <sup>じめん</sup>地面に のびたまま

うごくことも できません。





そこで 伊奈吉は、人間に おそわりながら  
あたりの <sup>くさき</sup>草木や <sup>いし</sup>石を あつめて、  
かまどを つくりました。

それから、<sup>ひ</sup>火と<sup>どうぐ</sup>道具を つかって  
なれない <sup>りょうり</sup>手つきで 料理を はじめました。



グッタリ していた

なかまたちも、

ただよってきた いいにおいに

おもわず、

「なんだろう？」と <sup>あたま</sup>頭を もちあげました。



伊奈吉は ドキドキしながら

はじめての 料理を

みんなに たべて もらいました。

